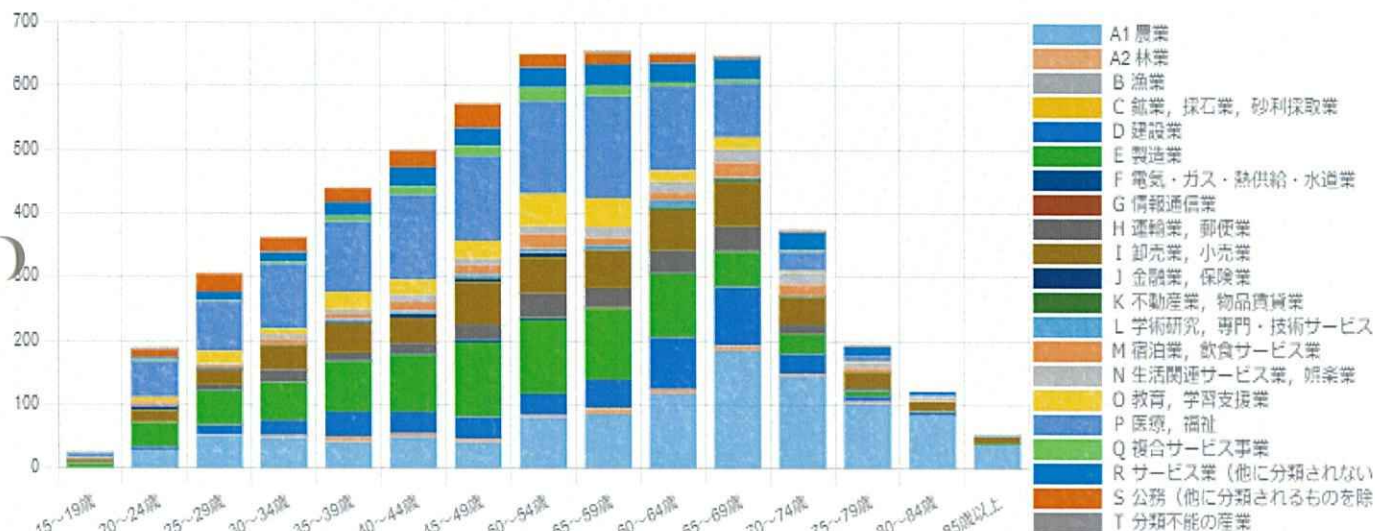


産業を支える人口

働く人の数（就業者人口）も2020年の**5,741人**から2050年には**2,062人**まで減少します。2020年一番多いのは55歳から64歳の年齢層 50歳以下の年齢層の働き手も多い 65歳定年制で減少

年齢別産業構造（2020年国勢調査）

就業者人口： 5,741 就業者人口比率： 50.0%



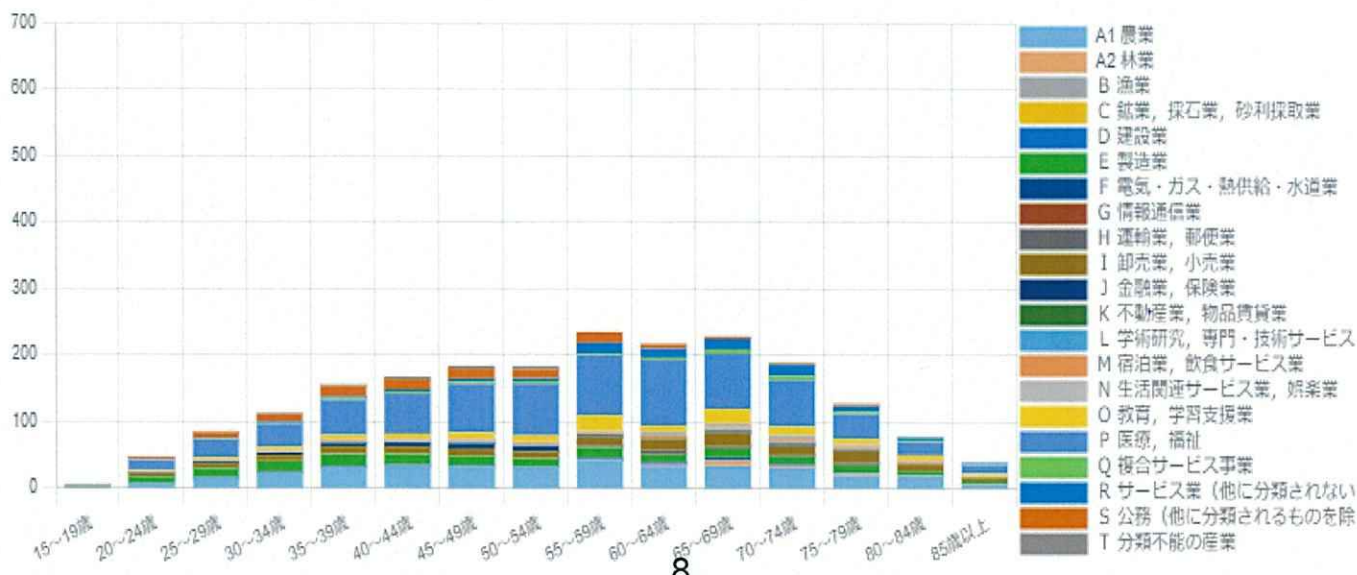
2050年

人口：4,765人 就業者人口：2,062人

全体に人数が減り 高年齢化がすすみます
45歳代以下はかなり減少 55~60歳台が最も多い

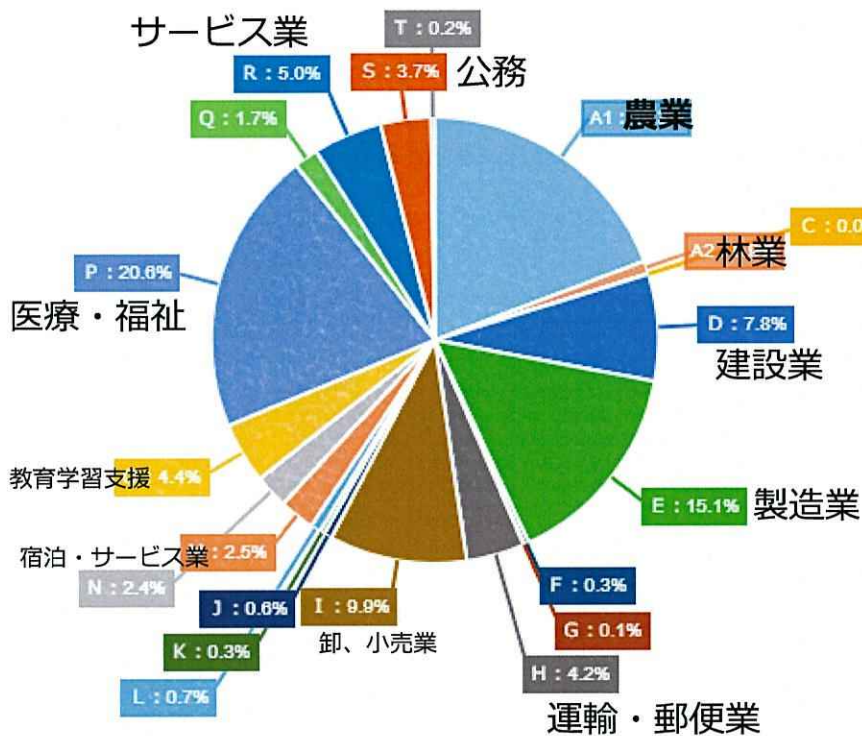
年齢別産業構造（2050年）

就業者人口： 2,062 就業者人口比率： 43.3%



産業別就業者の割合

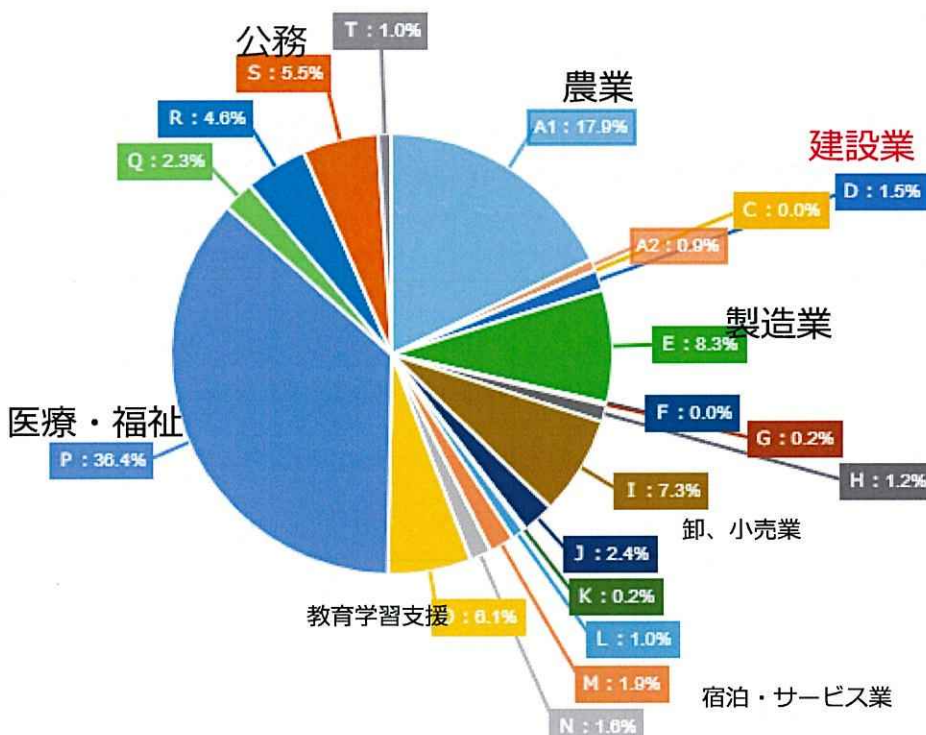
2020年 就業者人口 5741人 就業者人口比率は50.0%



農業で働く人が最も多く、次いで医療・福祉、製造業、卸小売業、建設業、サービス業、教育学習支援、公務と続きます。

19

2050年 就業者人口 2026人 就業者人口比率は43.3%

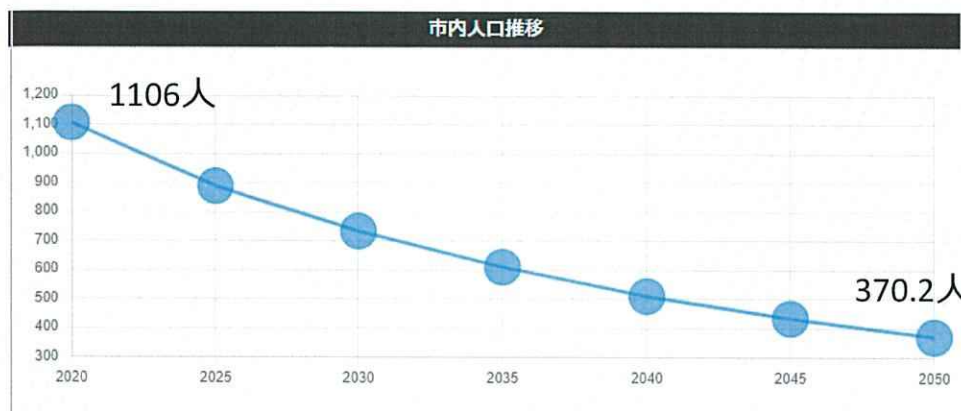


2050年
医療福祉の割合が最も大きく
次いで、農業、製造業、卸・小売業、教育学習支援、公務の割合が大きくなります。建設業は7.1%から1.5%と大きく減少します。

20

主要産業の就業者人口

農業・畜産業



農業、畜産業は一戸町の基幹産業の一つですが、2020年の1106人から2050年370人へと減少します。

2020年の従事者は65歳代が最も多く、高齢者の比率が高く、若年層の就業は少なくなっています。

2050年は高齢者の比率が大幅に減少し55歳代が多くなりますが、全体に減少します。



21

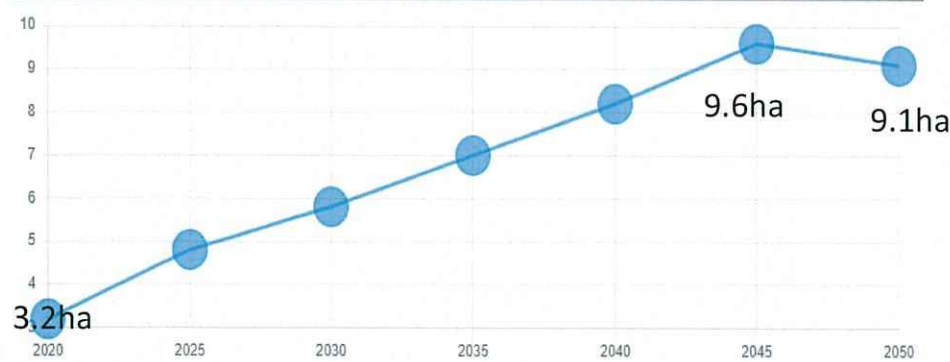
農業・畜産業の現状

耕地面積

農業人口一人当たり耕地面積 岩手県（2020年）： 2.94 ha/人

項目名	数値
耕地面積	3,550 ha
耕作放棄地面積(2016年)	650 ha
耕作放棄地率(2016年)	15.5%
食糧自給率(2020年)	154.4%
食糧自給率ランク	353

農業人口一人当たりの耕地面積の予測



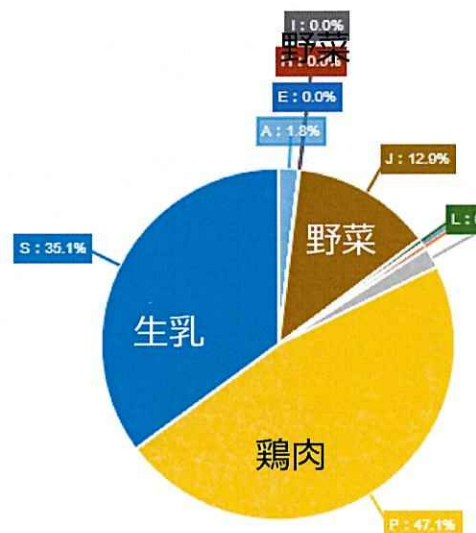
一戸町の耕地面積は2020年 3,550ha
耕作放棄地面積は2016年 650haで耕地面積の15.5%になっています。

一人当たり耕地面積は
2020年 3.2 ha
2050年 9.1 ha
と約3倍になります。
このため、大規模農業が可能となりますが、一方で耕作放棄地が増える可能性も高くなります。

一戸町の食料自給率(町内で食べられる食料に対する町内で生産される食料の割合)は154.4%です。一戸町の強み！
日本全体の食糧自給率は37%です。
ただし、畜産に偏っています。

22

農作物 (2020年)	(トン)	農作物 (2020年)	(トン)
米	1,230	その他果実	59
小麦	0	牛肉	349
大麦	0	豚肉	1,258
はだか麦	0	鶏肉	31,428
雑穀(そば)	1	その他肉	0
かんしょ	0	鶏卵	0
ばれいしょ	0	生乳	23,469
大豆	20	魚介類(海藻真珠除く)	0
その他豆	21	海藻乾燥重量	0
野菜	8,640	てんさい	0
みかん	0	さとうきび	0
りんご	312	きのこ類	0



2020年の農作物の生産は

鶏肉 31,428t 93.9億円

生乳 23,469t 26.1億円

野菜 8,640t レタス 9.5億円

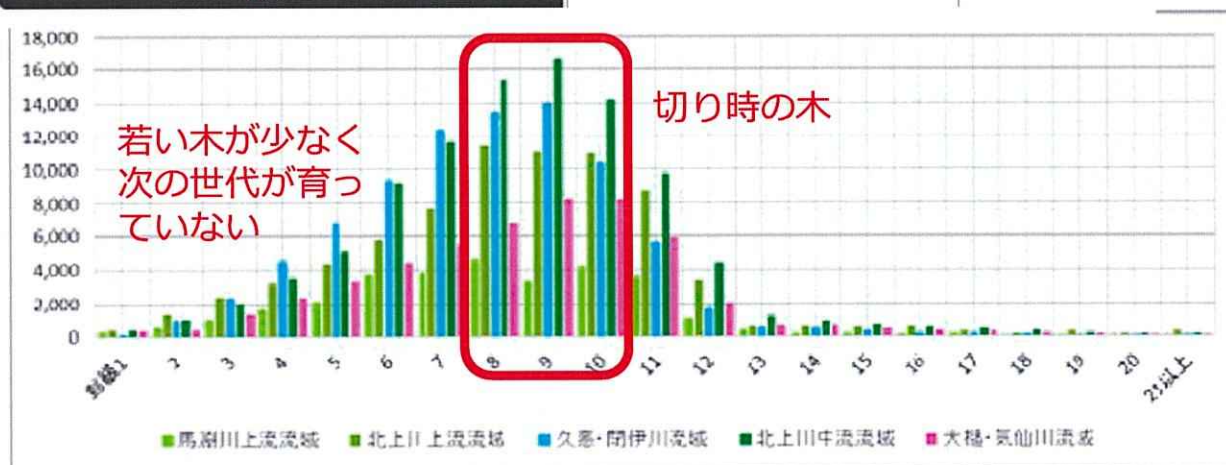
米 1,230t 2.5億円

一戸町は、鶏肉、生乳の生産量が大きく畜産業の生産量、収入が著しく高いことが大きな特徴です。

23

林業

当該市町村の林野面積	30003 ha	(2020年)
国内の林野面積に占める比率	0.118%	(2020年)
林野率	72.4%	



林業は一戸町の基幹産業の一つです。

一戸町の林野率(町の面積に占める森林面積の割合)は、72.45%と高い値になっています(日本の林野率は67%)

一戸地域では現在、齢級8~10(林齢40~50年)の伐採適期の森林が多く、若い齢級の木が少なくなっています。伐採を進めるとともに植林をする必要があります。